

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|-----------|-------------|----|----|
| 26-28 | 中学校 | 美術 | 美術 | 1年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 116 日文 | 美術 728 | 美術1 出会いと広がり | | |

1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は教育基本法第一条に示す教育の目的及び第二条に示す教育の目標に則り、「中学校学習指導要領第1章 総則」、及び「第2章 第6節 美術」に示された趣旨並びに内容を基にして教科の目標である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」ことを達成するために、教科書としての役割や責任を果たすべく編修に努めた。

本教科書の編修に当たっては、学習指導要領に示された内容を、以下の3事項に具体化し新しい教科書を編修することを趣旨とした。

①公正で品格のある教科書

美術における表現と鑑賞の学習は、豊かな人間性を育み、人格の陶冶に結び付く活動であることを自覚し、生徒の「生きる力」を育成する目的をもって教科書の題材の設定や図版の選定に当たった。単に知識や技能の習得に終わるのではなく、生徒の人格的成長を願い、公正で品格のある教科書づくりに配慮した。

②わかりやすい教科書

幅広い知識と教養を身に付けるため、美術における基礎・基本を重視し、確かな技能や様々な能力が習得できるようにした。このため、学ぶべき事項を整理して、丁寧な解説を付し、わかりやすい題材としてまとめるようにした。内容の選定においては我が国の伝統文化を尊重し、美術文化が国際社会に果たす役割について理解できるようにした。言語活動を充実させる観点から、美術を言葉を通して理解できるよう、平易でわかりやすい文章にした。

③豊かな心を育む教科書

美術の学習が単なる自己表現に終わるのではなく、道徳心や公共心、他人を思いやる心などが育まれるような題材を工夫した。自然や環境、生活などと美術との関係について考えることから、美術の社会的機能について理解できるような題材を設定し、豊かな心を育むようにした。

美術の学習での教科書の役割は、授業における教材としてはもとより、鑑賞の学習では世界各地の優れた作品を集めた美術館の役割を果たし、表現の学習では創作のアイデアやヒントを与えてくれるよき相談者となり、また制作技法を教えてくれる技法書としての役割も持っているのである。

生徒が美術を愛好する心情をもつようになるには、上記のような優れた内容の教科書に学ぶ必要があると考え、本教科書の編修に努めた。

2. 編修の基本方針

本教科書においては、教育基本法第二条に示される教育の目的を達成するために、七つの具体的な基本方針を定め、編修に努めた。二条第一号は①と②に、第二号は③に、第三号は④に、第四号は⑤に、第五号は⑥と⑦に対応している。

教育基本法第二条

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

[教科書編修に関する具体的な基本方針]

①幅広い知識と教養を身に付けることのできる教科書

オリエンテーションや教科書美術館など、大画面で作品を見せる迫力のあるページを設けた。また、判型を大きくして情報量を増やし、適切な解説を施すなど幅広い知識と教養を身に付けられるような教科書づくりに配慮した。



P.2・3 種まく人

②豊かな情操と道徳心を培う教科書

材料の扱いや技法などを充実させ、美術科における基礎・基本を十分に踏まえるとともに、生徒のみずみずしい感性に働きかけ、豊かな情操と道徳心を培うような題材選定や構成に配慮した。

③自律・自立の精神を養う教科書

「個に軸を置く題材」、「身の回りの生活に関わる題材」、「社会、自然や生命、環境と関わる題材」という中学生としての世界観の広がりを意識しながら、個人の価値を尊重し、自律の精神を養えるようにした。また、キャリア教育の視点から、勤労を重んずる態度を形成できる内容にした。

④社会の形成に参画する態度を養う教科書

鑑賞活動を通じ、話し合いの場を通して、学びの中から正義と責任、男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるようにした。また、公共の場で用いられるデザインを考えることで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるような題材を盛り込んだ。

⑤環境の保全に寄与する態度を養う教科書

自然との共生や環境の保全など、人間と環境との相互作用や生命の尊重に対する関心を高め、環境形成に果たす美術の役割について理解を深められるような教科書づくりに配慮した。

⑥伝統と文化を尊重する教科書

自らのアイデンティティを大切にしながら、美術の歴史や伝統、美術文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、これからの時代をリードする「受け継ぐ」担い手を育てることができるよう内容にした。



P.49 受けつがれる伝統芸能

⑦国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う教科書

柔軟な感受性を基にした美的な思考や判断力から生み出される表現を大切に、ビジュアルコミュニケーションの能力を養い、他者の文化や価値観を尊重し、相互理解や国際理解が深められ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことのできる内容にした。

3. 対照表

本教科書は学習指導要領の示す内容の構成に基づき、生徒の学習のしやすさを考慮してオリエンテーション、絵や彫刻など（表現・鑑賞）、デザインや工芸など（表現・鑑賞）、学習に役立つ資料に分類し構成している。

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|--|---|
| <p>オリエンテーション</p>  <p>P.4 タンギー爺さんの肖像</p> | <p>①美術における表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の姿に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>②優れた芸術を理解することは人間としての尊厳を学ぶことに通じる。優れた品格の高い美術を示すことが、生徒の人間性を正し正義と責任感を養うことに通じると考え編修に努めた（第三号）。</p> <p>③自他の敬愛と協力の精神を養うため、人間への関心を高める題材を設定した（第三号）。</p> | <p>① P.2～4</p> <p>② P.2～4</p> <p>③ P.6・7</p> |
| <p>絵や彫刻など（表現・鑑賞）</p>  <p>P.16・17 生徒作品 流木から生まれた動物たち</p>  <p>P.26-29 奄美の海に蘇鐵とアダン</p> | <p>①美術における表現と鑑賞の活動が、美という普遍的価値を軸に、真理を求め、よりよく生きようとする人間の姿に触れる機会になるように、取り上げる作品や事例を厳選した（第一号）。</p> <p>②一人一人のよさや個性が尊重され、その能力を十分発揮する中で、相互に創造性を高め合うことができるような活動を充実させた（第二号）。</p> <p>③共感的に想像力を発揮する活動を通して、人間同士はもちろんのこと、小さな生き物や環境も含めて、それらとの命の繋がりを感じ取り、あらゆる命を慈しむ態度を育む題材を設けた（第四号）。</p> | <p>① P.8～17, P.20～23, P.30・31</p> <p>② P.8～17, P.20～23, P.30・31</p> <p>③ P.22・23, P.24～29</p> |
| <p>デザインや工芸など（表現・鑑賞）</p>  <p>P.37 生徒作品 文字で遊ぼう</p>  <p>P.43 生徒作品 誕生日のカード</p> | <p>①自分らしい考え方や感じ方を大切にするとともに、生活や社会の中で働く美術の力についての認識を深める内容を充実させた（第二号）。</p> <p>②優れた芸術を理解することは人間としての尊厳を学ぶことに通じる。優れた品格の高い美術を示すことが、生徒の人間性を正し正義と責任感を養うことに通じると考え編修に努めた（第三号）。</p> | <p>① P.34～47</p> <p>② P.34～47</p> |

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|---|
| <p>デザインや工芸など（表現・鑑賞）</p>  <p>P.47生徒作品 リスのバターナイフ</p>  <p>P.33 幼児用食器</p>  <p>P.49 獅子舞</p> | <p>③美術は個人的な感性だけを問題とするのではなく社会的機能ももっている,ということが理解できるような題材を設定し,公共の精神の涵養に努めた(第三号)。</p> <p>④自他の敬愛と協力の精神を養うため,人間への関心を高める題材を設定した(第三号)。</p> <p>⑤時代や地域,民族を超えた多様な美術や文化を通して,大切なことを受け継いでいくことや,他者や自然環境などと,共に生きることの大切さについて学ぶ機会を設けた(第四号)。</p> <p>⑥我が国や諸外国の美術や文化に触れる機会を設け,その違いや共通点に気付き,それらを通して多様な文化を理解し,尊重する態度を養うことができる内容を設定した(第五号)。</p> | <p>③ P.34～47</p> <p>④ P.32・33</p> <p>⑤ P.48・49</p> <p>⑥ P.48・49</p> |
| <p>学習に役立つ資料</p>  <p>P.18 美術館で作品を鑑賞する生徒たち</p>  <p>P.52 クロスハッチングで描く</p> | <p>①自他の敬愛と協力の精神を養うため,人間への関心を高める配慮をした(第三号)。</p> <p>②美術1で学ぶべき基礎的・基本的事項について,必要に応じて図示したり,制作過程を取り上げたりし,わかりやすい示し方を心がけた(第一号)。</p> | <p>① P.18・19</p> <p>② P.50～59</p> |

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①発想や構想のプロセスを重視

生徒自身のアイデアスケッチや言葉、あるいはその情景写真などを示し、表現活動における発想や構想のプロセスを参考にすることができるよう工夫した。



P.13
コンクリートの
すき間に生えた雑草のスケッチ。

②学習に役立つ資料の充実

表現活動における発想や構想の能力、創造的な技能の発揮をサポートし、その豊かな育成を目的として、材料や用具の扱い方や色彩など学習に役立つ資料を巻末に特集して示した。



P.58
削る(小刀で)

③社会との連携

地域社会や作家、美術館などの公共施設との連携を視野に入れた学習活動を積極的に取り上げた。



P.18
美術館で絵の気になった部分
近づいて見てみる。

④他教科との関連

自分自身を見つめつつ、時代や地域、民族などを越えた多様な価値観や生き方に触れ、それらが繋がりが合っていることや、それぞれの違いのよさを認め合うことの大切さを感じ取る題材や教材を取り上げ、道徳や社会科、国語科など他教科との連携に配慮した。

☘ 温かい人間愛の精神を深め、ほかの人々に対し思いやりの心を持つ。

P.22 道徳の学習と関連する内容を示したマークと文章

⑤多様な美術文化の例示

デザインや工芸をはじめ、多様な美術文化を幅広く題材や教材として取り上げた。個人で使うものなど、生活のあらゆる場面に美術の力が働いていることをわかりやすく伝えるように工夫した。



P.45
生徒作品
板づくりの器

⑥「伝える力」の育成

今後ますます、プレゼンテーション能力が求められる社会に生きていく中学生が、美術で学んだ力が生かせるように、友だちと意見を交換するなど「伝える」力を育成することに重点を置いた内容を取り上げた。



P.19
アートカードを
鑑賞して意見交換

⑦特別支援教育、ユニバーサルデザインへの配慮

特別支援教育の専門家の校閲を受け、ユニバーサルデザインに配慮した紙面にした。文字の大きさや行間隔、二段組みの段間隔は、だれもが読みやすいよう配慮した。

何かを見つめ、絵を描こうとする時、描く対象をよく見て特徴をとらえ、その魅力を感じ取ることから始まります。ここで取り上げる3人の作者はいずれも植物を描いていますが、一つ一つの花の描き方

や画面の構図は違います。それは、それぞれがとらえた特徴や、感じた魅力が違い、自分なりの方法で表したからと言えるでしょう。描き方や構図に注目して、作者の意図について話し合ってみよう。

P.25 「花の生命」の本文

⑧防災・復興に関する題材の例示

防災や復興に関する内容を美術と関連づけて扱い、美術が社会に果たす役割について中学生が学べる題材を厳選した。



P.55
神戸ルミナリエ

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

| | | | | |
|-----------|-----------|-------------|----|----|
| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
| 26-28 | 中学校 | 美術 | 美術 | 1年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 116 日文 | 美術 728 | 美術1 出会いと広がり | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

中学校学習指導要領 第1章 総則, 及び第2章 第6節 美術に示された趣旨並びに内容を基にして, 美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに, 感性を豊かにし, 美術の基礎的な能力を伸ばし, 美術文化についての理解を深め, 豊かな情操を養うことができるよう, 以下の各項目において特に意を用いて編修した。

- ①領域や項目を整理してわかりやすい教科書にした。中学校3年間を通じて自己, 生活, 社会・自然・環境というステージで学習することを設定した。中学生の発達段階を考慮して3分冊の構成にし, 1年「出会いと広がり」, 2・3年上「学びの深まり」, 2・3年下「美の探求」を各分冊のテーマとした。三つのステージと各分冊のテーマを下記のマトリックスに示すように教科書を構成した。

絵や彫刻など A表現 (1) (3)

| 学年・テーマ ステージ | 美術1 出会いと広がり | 美術2・3上 学びの深まり | 美術2・3下 美の探求 |
|----------------|-------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 自己 | 自己を改めて見つめ, 新たに気付く。 | 自己の内面を見つめ, 今の自分を考える。 | 自分の生き方や在り方などを考え, 自分の心を追求する。 |
| 生活 | 身の回りのものや生活を見つめ, よさや美しさなどに気付く。 | 身の回りのものや生活を見つめ, よさや美しさなどについて考える。 | 大切にしたいことや物などを考え, そこにある本当の価値などを追求する。 |
| 社会・自然・環境 | 自然を見つめ, よさや美しさに気付く。 | 自然の美しさなどを実感し, 自分の感じ方で理解したりとらえたりして考える。 | 自然に対する畏敬の念などを感じ, その美しさやすばらしさなどを追求する。 |

デザインや工芸など A表現 (2) (3)

| 学年・テーマ ステージ | 美術1 出会いと広がり | 美術2・3上 学びの深まり | 美術2・3下 美の探求 |
|----------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|
| 構成 装飾 | 美意識を働かせ, 自分が表現したい構成や装飾を考える。 | 洗練された美しさを追求し, 生活を豊かにするための構成や装飾を考える。 | 課題を発見し, 社会・環境を豊かにするための構成や装飾を考える。 |
| 伝達 | 伝えたい内容について分かりやすさや美しさを考えて表す。 | 多くの人に伝えるために, わかりやすさや美しさなどを考えて表す。 | 目的や条件をもとに, より多くの人に対して, わかりやすさや美しさなどを考えて表す。 |
| 用途 機能 | 自分が使いたいものの用途や機能, 美しさなどを考えてつくる。 | 人の気持ちや機能, 美しさなどを総合的に考えてつくる。 | 人々の気持ちや機能, 夢や想像, 美しさなど, 総合的に考えてつくる。 |

鑑賞 B鑑賞

| 学年・テーマ | 美術1 出会いと広がり | 美術2・3上 学びの深まり | 美術2・3下 美の探求 |
|----------|-------------------------------|---|--|
| 自己 | 美術作品などへの自分の見方や感じ方を広げる。 | 美術作品などへの自分の見方や感じ方を深める。 | 美術作品などへの自分の価値意識をもって幅広く味わう。 |
| 生活 | 生活における美術の働きなどへの自分の見方や感じ方を広げる。 | 生活における美術の働きなどへの自分の見方や感じ方を深める。 | 生活における美術の働きなどについて自分の価値意識をもって幅広く味わう。 |
| 社会・自然・環境 | 自然の造形美に気付いたり、美術文化への関心を高めたりする。 | 周りの環境から美などを感じ取ったり、日本の伝統的な美術や諸外国の美術を味わったりする。 | 自然や周りの環境の見方を深めたり、美術を通じた国際理解や文化の継承・創造への関心を高めたりする。 |

- ②生活の中に生かされている美術の働きや美術文化への理解を深めることができるように、多様な視点から美術を捉え、教材の幅を可能な限り広げることができるようにした。
- ③〔共通事項〕に示された視点については、全ての題材において、紙面に掲載されている生徒作品や記載する文章などから読み取れるようにした。
- ④表現と鑑賞の関連を考慮し、参照マークを設けて関連するページにリンクをはることで、表現と鑑賞を一体化して学習できるようにした。
- ⑤絵や彫刻など、デザインや工芸などの枠組みをインデックスで示し、各ページの分野を明確にし、学習の目標がつかみやすくなるようにした。

P.21 参照マーク

参照 人物の表現についてはP.22～23「身近な人を見つめて」を見てみよう。





絵や彫刻など

デザインや工芸など

学習指導要領に示された各学年の目標との関連は以下の通りである。

○美術を愛好する心情や、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てるため、生徒が楽しく美術の活動に取り組むことができる魅力ある教材を系統的に配列した。(1目標(1)との関連)

- ①関心や意欲、態度の観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、それぞれに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した。
- ②美術が、身近な生活の中に生かされている魅力的な事例や、社会をよりよく変えていく力につながっている事例などを、オリエンテーションや特設ページなどで取り上げ、美術によって生み出すことのできる価値や、美術を学ぶ意味が理解できるようにした。

-  関心・意欲・態度に関するねらい
-  発想や構想に関するねらい
-  創造的な技能に関するねらい
-  かんしやう 鑑賞に関するねらい

P.5学びのねらい(図1)

また、美術1では「図画工作、そして…美術へ」を設け、小学校からの連続性に配慮し、材料の面白さや行為の楽しさといった多様な造形体験を生かした活動や、身近な生活の中で感じる素直なイメージを出発点とした表現や鑑賞の活動から、中学校の美術の学習が始められるように配慮した。

- ③「A表現」「B鑑賞」の各指導事項に関して、そこに示されている資質や能力を発揮しようとしたり、身に付けようとししたりする学習活動が展開できるように、可能な限り具体的な事例を示すようにした。

○生徒が対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力、形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する能力が育てられるよう紙面構成を工夫した。(1目標(2)との関連)

- ①発想や構想の能力、創造的な技能の2観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、そ

それぞれに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した(図1)。

②発想や構想を練ったり、創造的な技能を働かせて実際に形にしていったり、またこれらが相互に関連しながら高まっていくなど、学習のプロセスがわかるよう、必要に応じて、学習活動の過程を具体的に示すようにした。

③それぞれの教材の学習の手立てとなる内容を、「POINT」のマークを用いてわかりやすく示すようにするとともに、各学年で経験しておきたい技法などについて巻末資料として収録した。

POINT

自分が感じた特徴を意識して、全体と細部、両方に注意しながらつくりましょう。

P.10 POINT

○生徒が自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てるよう工夫した。(1目標(3)との関連)

①鑑賞の活動の観点からの学習の目標を、「学びのねらい」の欄に明確に示し、それぞれに応じた指導事項が含まれる内容や教材を厳選した(図1)。




②自分一人で見えていたのでは気付くことができない視点や捉え方、価値などに気付くことができるように、他者と意見を述べ合うなどする学習活動を必要に応じて紹介するようにした。




2. 対照表

第1学年

| 内容の構成 | | |
|-------|-------------------------------|---|
| 領域 | 項目 | 事項 |
| A表現 | (1) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 | ア 主題の創出 イ 主題などを基にした表現の構想 |
| | (2) 目的や機能を考えた発想や構想 | ア 構成や装飾を考えた発想や構想 イ 伝達を考えた発想や構想 ウ 用途や機能などを考えた発想や構想 |
| | (3) 発想や構想をしたことなどを基に表現する技能 | ア 創意工夫して表現する技能 イ 見通しをもって表現する技能 |
| B鑑賞 | (1) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り味わう鑑賞 | ア 造形的なよさや美しさなどに関する鑑賞 イ 美術文化に関する鑑賞 |
| 共通事項 | (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して指導 | ア 形や色彩などがもたらす感情の理解 イ 対象のイメージの把握 |

| 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | | | 該当箇所 | |
|---------------|--|---------------|--------|------|--------------------------|----------------|
| | | 内容 | | | | 指導計画の作成と内容の取扱い |
| | | A表現 | B鑑賞 | 共通事項 | | |
| オリエンテーション | 出会って広げよう | | (1) アイ | アイ | 1 (2) (4) (5) | P.2~4 |
| | 図画工作、そして…美術へ | | (1) ア | アイ | 1 (2) (4) 4 | P.6・7 |
| 絵や彫刻など(表現・鑑賞) | 見て感じて、描く | (1) アイ (3) アイ | (1) ア | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アウ | P.8・9 |
| | 身近なものを立体で表そう | (1) アイ (3) アイ | (1) ア | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3 | P.10・11 |
| | なぜか気になる情景 | (1) アイ (3) アイ | (1) ア | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アイ | P.12・13 |
| | 心に残ったできごと  | (1) アイ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アウ | P.14・15 |

| 図書の構成・内容 | | 学習指導要領の内容 | | | | 該当箇所 | |
|----------------------|---|---|---------------|--------|--------------------------------|-------------------------------|---------|
| | | 内容 | | | 指導計画の作成と内容の取扱い | | |
| | | A表現 | B鑑賞 | 共通事項 | | | |
| 絵や彫刻など (表現・鑑賞) | 材料と対話して | (1) アイ (3) アイ | (1) ア | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3 | P.16・17 | |
| 学習に役立つ資料 | 鑑賞との出会い | | (1) アイ | アイ | 1 (2) (4) (5) 2 (2) 4 | P.18・19 | |
| 絵や彫刻など (表現・鑑賞) | 私が見つけた物語 身近な人を見つめて | | (1) アイ | アイ | 1 (2) (4) | P.20・21 | |
| |  | (1) アイ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) (4) (5) | P.22・23 | |
| | 花の命 | | (1) アイ | アイ | 1 (2) (4) (5) 4 | P.24~29 | |
| | 刷って出会う美しさ | (1) アイ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アウ 3 | P.30・31 | |
| | デザインの扉を開こう 美しい構成と装飾 |  | (2) ア (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) エ | P.34・35 |
| デザインや工芸など (表現・鑑賞) | 楽しく伝える 文字のデザイン | (2) アイ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) ア 3 | P.36・37 | |
| | 記憶に残る シンボルマーク |  | (2) アイ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) ア 3 | P.38・39 |
| | 一枚の紙から 広がる世界 | (2) アウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3 | P.40・41 | |
| | 私の気持ちを カードに込めて | (2) アイ (3) アイ | (1) ア | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) エ 3 | P.42・43 | |

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | | | | 該当箇所 | |
|--|---|--------------------------|--------|----------------|-----------------------------------|---------|
| | 内容 | | | 指導計画の作成と内容の取扱い | | |
| | A表現 | B鑑賞 | 共通事項 | | | |
| デザインや工芸など (表現・鑑賞) | 使いたくなる焼き物をつくらう  | (2) アウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) エ 3 | P.44・45 |
| | 暮らしに息づく木の命 | (2) アウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (1) (2) (3) 2 (1) アエ 3 | P.46・47 |
| | 伝統の中の動物たち | | (1) アイ | アイ | 1 (2) (3) (4) (5) 2 (2) (4) | P.48・49 |
| 学習に役立つ資料 | 自然界や身の回りにある形や色 | (1) アイ (2) アイウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (2) 2 (1) ウ | P.50・51 |
| | 鉛筆で描く | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 2 (1) ア 3 | P.52 |
| | 水彩で描く | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 2 (1) ア 3 | P.52 |
| | 遠近感を表す | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 2 (1) ア 3 | P.53 |
| | 色の広がり, 色の魅力 | (1) アイ (2) アイウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (2) 3 | P.54・55 |
| | 三原色から生まれる色 | (1) アイ (2) アイウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (2) 3 | P.54・55 |
| | 色を学ぶ | (1) アイ (2) アイウ (3) アイ | (1) アイ | アイ | 1 (2) 2 (1) ウ | P.56 |
| | モダンテクニック  | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 3 | P.57 |
| | 木版画 | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 3 | P.58 |
| | 木工の技法 | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 3 | P.58 |
| 焼き物をつくる  | (3) アイ | | アイ | 1 (1) (2) 3 | P.59 | |